

名経大とつくる 地域のげんき!

[インタビュー特集]

名経大生と地域連携!

地域の未来を応援!

- 扶桑町・扶桑町商工会との連携協定締結式
- 犬山市議会との連携協力協定締結式
- 犬山市観光協会との連携協力覚書締結式
- あいうえOguchi

2021(令和3)年3月15日
犬山学生観光大使任命式



2021(令和3)年5月14日
犬山市議会との連携協力協定締結式



名古屋経済大学地域連携センター NEWS

VOL.16 [2021.JULY]

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

名古屋経済大学は、地域のみなさまとともに持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

地元まちづくりへの貢献

地元で育った経営学部2年玉谷駿弥さん。高校時代から多くの社会貢献活動に積極的に携わり、大学生になったいまも犬山のために奔走中!



教えて!玉谷くん

- Q 地元まちづくりに貢献しようと思ったきっかけを教えてください。
- A 高校が商業科だったこともあり、授業の一環として地域貢献活動に参加しました。そこで地域活動に興味を持ち、自分も高校生活や大学生活の中でお世話になっている犬山市に何か地域貢献できないか、と思ったからです。
- Q 地域活動にあたってはどのような気持ちを持つことが大切ですか。
- A 地域活動を行うときの気持ちは、勉強などと同じです。つまり楽しいと思って活動することが大切です。
- Q まちづくりに参加する若者はあまり多くないという現状があるように思うのですが、その原因はどこにあると思いますか。
- A 若者にとって地域活動は地味で、魅力をあまり感じない人が多いからではないでしょうか。学生も土日は休みたい人が多いでしょうから地域活動にあまり目が向かないのだと思います。だからこそ、自分が率先して地域活動をやっています。



- Q 名古屋経済大学に入学した理由を聞かせてください。
- A 高校3年の夏休みまでは県外の国立大学を薦められていました。しかし高校時代から名古屋経済大学の地域連携センターと協力して地域活動をしてきたことから、自分が育った地域への恩返しとして地元で貢献したいという思いが強く、この大学を選びました。

取材後記

若者が地域活動にあまり参加しない理由について、玉谷さんは地域活動が地味な印象を与えること、休日に活動が集中することを挙げました。私も地域活動に興味はあるのですが、同じような印象を持っています。ですので、SNSなどで活動写真や魅力を積極的に紹介するなど、若者が地域活動に強い興味と関心を持つような工夫が不可欠だと思います。それによって、今後のまちの発展を担う若者による地域活動が、さらに活発になればいいなと思います。



法学部1年 ● 山本 昂輝

玉谷さんは高校の授業がきっかけでプロジェクトを始め、そこから地元への貢献のために地域活動を継続しています。つまり、何かを始めるにはきっかけが大切であり、地域のために活動できるような行動力と気持ちが重要だと取材をして分かりました。



経営学部1年 ● 筒井 悠斗

- Q 現在、地元のまちづくりや地域貢献のプロジェクトに参加していますか。
- A 新型コロナウイルスの影響により、そうした活動が行われなくなっているため、残念ながら参加できていません。
- Q 今まで玉谷さんが携わった地域貢献活動の中で、一番印象に残っていることを教えてください。
- A 高校生の時に、犬山市の「お菓子の城」でプロジェクションマッピングをおこなったことが印象に残っています(下に写真)。長い時間と労力をかけた活動なので、犬山市のいろいろな人達が見に来てくれたことがうれしく、とてもやりがいを感じたので一番印象に残っています。
- Q 将来やりたいことなどを教えてください。
- A 将来的に教育関係などの若者と関わることができる職業に就きたいと考えています。

玉谷さんは取材中、地域活動の魅力を熱心に語ってくれました。



←「お菓子の城」でのプロジェクションマッピング

みんなで行こう! 犬山城下町

PayPayでお賽銭!

犬山城下町ではお賽銭をする際に電子マネーで支払うことができる「老い呆れ来ず地藏」があります。場所は、犬山城下町・本町通りの昭和横丁の隣です。通常の現金のほかに、スマホでの電子マネー決済として、PayPayなどQRコードを使うことができます。実際にPaypayを使ってお賽銭をしてみました。初めてだったので、ご利益にあずかれるか不安もありましたが、最先端のお参りの仕方には驚きました。ぜひ試してください。

串ポイ捨てダメ!!

犬山城下町では、いろいろな食べ物を串にさして提供しており、食べ歩きが名物となっています。そのため、右の写真のようにさまざまなゴミ箱(串入れ)があります。ですが、地元の方によると、串のポイ捨てが問題になっているようです。ボランティアの方々が清掃を行っていますが、串などがコンクリートの隙間に捨てられているので拾いにくく、とても困っているようです。楽しんだ後は必ずゴミ箱に捨てましょう!



ご利益は...?

犬山城下町は国宝犬山城に続く旧街道沿いに広がっており、江戸時代から昭和までの歴史的な建造物が立ち並んでいます。城下町にはさまざまなお土産屋さんが営業しており、なかでも串物は、犬山城下町の名物のひとつになっています! ほかにも、名古屋のよしもと若手芸人が車夫を務める人力車など、多くの観光スポットがありますよ。

◆アクセス方法◆

名鉄犬山線犬山駅より徒歩で約8分

現地レポーター: 経済学部1年 ● 山本 和輝
法学部1年 ● 坂野 光

犬山観光学生大使 in 名経大

観光学生大使としてのマナー研修

人間生活学部3年 新城朱莉さん、経営学部3年 甲斐愛也佳さん、人間生活学部2年 坂手優心さん、人間生活学部2年 島袋美空さんの4名が、令和3年度の犬山観光学生大使として活動しています。

大使に選ばれて以降、皆さんは歩き方や姿勢、物の拾い方など所作についての研修を受けています。さらに、今後の観光PR活動のため、市の文化遺産などを巡りながら、犬山の歴史についても学んでいます。これまでの学校教育では、社会科などの授業に対する苦手意識があったそうですが、研修以降は犬山の歴史にも興味を持てたそうです。

また、相手に圧迫感を与えないように話すテクニックなど、研修での教えが大使の活動において早速活かしているそうです。



左から: 坂手、新城、甲斐、島袋

観光学生大使に直撃!

Q 普段どのような活動をされていますか?



- 島袋 主に犬山市のPR活動をするためにさまざまなイベントなどに参加しています。
- 甲斐 コロナの影響もあり、今年は木曾川遊覧船でのお仕事が主になっています。
- 新城 大使になって2年目ですが、昨年度は「にっぽん城まつり」で、犬山観光をプロモーションしました。

Q どうしたら大使になれるのですか?

新城 地域連携センターから募集案内があるので、それに自分で応募しました。そして、犬山市観光協会の方々との面接の後、合格の連絡をいただきました。

甲斐 名経祭に参加すると、観光協会の方から直接スカウトされることもありますよ。



Q 大使の活動を将来にどう繋げていきたいですか?

甲斐 大使の仕事は人前に立つことが多いので、人前で緊張しないための経験になります。きっと将来の仕事において、会社の人たちの前でプレゼンなどをする機会もあると思うので、そのコツが自然と身につくことがいいなと感じています。



Q 犬山の魅力を教えてください

島袋 犬山城下町の街並みからは歴史を感じることができるし、お城や神社もあって、とても風情を感じられます。それに、飲食やお土産のお店もたくさんあります。また、浴衣のレンタルもできるので、城下町の景観に溶け込み、その雰囲気を実際に体感することができます。

Q 犬山のさらなる発展のため、どんなことが必要ですか?

新城 犬山の観光を発展させるためには、魅力的なイベントなどがさらに増えることが重要だと思います。私たちは、大使の研修や活動などの感想を、観光協会のInstagramでアップしています。現在はコロナの影響で外出できないことも多いと思うので、SNSを中心に情報を発信していって、コロナ終息後の集客につながれば、犬山の観光がもっと活性化していくのではないかと期待しています。

※ 坂手さんは授業のため話を聞くことができませんでした。

インタビューー: 経営学部1年 ● 加島 明豊

経営学部1年 ● 小西 蓮侑



◆ 犬山市観光協会【公式】Instagram ◆

@inuyama_info

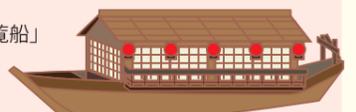
URL: https://www.instagram.com/inuyama_info

次回の大使参加イベント

8月7日、9月18日

木曾川犬山城港発着の「犬山城遊覧船」

※新型コロナウイルスの影響で中止・延期になる場合があります。



01 抹桑町・抹桑町商工会との 連携協定締結式

学生の柔軟な発想や若い力をお借りして、「みんなの笑顔がかがやくまち抹桑町」を目指しまちづくりを進めてまいります。また、幅広い年代の人々や広く社会との交流から、学生の成長と夢が実現につながれば嬉しく思います。

抹桑町長 ● 鯖瀬 武さん



2021(令和3)年5月13日(木)

抹桑町役場

コラボ

抹桑町 ×
抹桑町商工会 ×
名経大



昨今の新型コロナウイルス感染症の問題をはじめ、時代の変化に対応する取り組みについて、抹桑町商工会のカラーを活かした連携ができればと思います。商工会員が元気になることで、まちが元気になると思えます。また、学生との交流を通じて新たな発想が生まれ、更にまちが活性化されることを望んでおります。

抹桑町商工会会長 ● 鈴木 洋さん



協定締結を機にコロナ禍で困っている学生へ役立てほしいと、食料品・衛生用品の支援をいただきました。



02 犬山市議会との 連携協力協定締結式

名古屋経済大学とは、これまで学生議会や学生と議員との意見交換会などを行い交流を深めてまいりました。今後さらに、政策共同研究やインターンシップなど、新しい連携事業へと発展させたいと思っています。学生の持つ若い知的資産を大いに活かしていただくことで、地域社会の発展や双方の活動の充実につながることを期待しています。

前犬山市議会議長 ● 中村 貴文さん



2021(令和3)年5月14日(金)

犬山市議場

コラボ

犬山市議会 × 名経大



学生の感想

- ・締結を結んで終わりではなく、大学生にしかできないことを提案し、取り組みたいと思いました。これから楽しみです。
- ・犬山市にある唯一の大学としての特色を活かした連携をして、犬山がもっと住みよいまちになってほしいと思いました。
- ・議会がより身近な存在になることで、学生がまちづくりに興味を持ち、地域の発展・人材育成につながると思いました。

抹桑町を知ろう!

～抹桑町の現状と課題～



2016(平成28)年12月7日～
名古屋経済大学

丹羽郡町村会・議長会研修会



2016(平成28)年8月1日
大口町健康文化センター

城下町まち歩きしシビを考える

～インターンシップでの取り組み～



2019(令和元)年
8月20日・31日
抹桑守口食品本社工房

これまでの取り組み

子育ておうえん講座



2017(平成29)年11月11日
12月6日・9日・21日～
抹桑町中央公民館

愛知県子どもの学習支援事業

～家庭的な居場所づくり～



2018(平成30)年
5月12日～
丹羽郡抹桑町
ココイクル

犬山市学生議会 自分たちの暮らす地域に興味を持とう



2016(平成28)年2月15日 犬山市議場

犬山市議会議員に 会いに行こう!



2018(平成30)年1月12日 犬山市議場

市民と語る会



2020(令和2)年
1月25日
犬山市南部公民館

犬山市議場見学



2020(令和2)年11月6日 犬山市議場

03

犬山市観光協会との 連携協力覚書締結式

犬山市観光協会とは、2013(平成25)年から継続している犬山学生観光大使事業をはじめ、体験型プロジェクトや犬山学入門の授業で、職員の方に講師をお願いするなど連携を続けてきました。また、犬山学研究センターの活動に際しても、新しい観光資源発掘などの活動を重ね、覚書の締結の日を迎えました。



2021(令和3)年3月15日(月)
犬山城前広場

コラボ

犬山市観光協会 × 名経大



犬山観光のキャッチフレーズは「本物を求めて、犬山へ」です。国宝「犬山城」をはじめ多くの本物が犬山の魅力を高めています。犬山には未だ日の目を見ないもの、知られずひっそりとある本物も数多くあります。今回の締結により、今までにない視点で新たな魅力を探り出し、開花することを望んでやみません。

(一社)犬山市観光協会会長 ● 小川 征一さん

初代犬山学生観光大使



In 中京競馬場



In 稲沼まつり

覚書締結式に併せて
2021(令和3)年度
犬山学生観光大使の
任命式が行われました。



あいうえ guch コラボ

2021(令和3)年4月1日(木)~
白山ふれあいの森

まちなっと大口 × 名経大



~日本のよさを知ってもらおう~

外国につながる子どもたちの日本語・学習支援、文化習慣の学び合いを通し、地域で安心して暮らし続けられるようにと誕生した「あいうえOguchi」。子どもたちと一緒に遊んだり、勉強を教えたりするボランティアに本学学生も参加しています。



「ただいまー!」と小学生が元気よく、少し遅れて中学生も学校から帰ってきます。一人一人に寄り添ってそれぞれの学習に取り組み、その後読書や折り紙、天気の良い日は隣接している公園で遊んだりします。学生さんを見つけると喜んで駆け寄って行く子どもたち。そんな外国につながる子どもたちの笑顔を地域のボランティアと一緒に育んでくださる学生さんに感謝しています。これからも是非参加してください。

あいうえOguchi代表 ● 鈴木 由布子さん



私は小学2年生の女の子に学校の宿題や九九・漢字プリントの学習サポートを行いました。ボランティアの皆さんはとてもフレンドリーに子どもたちと接していて、第二の家のような温かさを感じました。ボランティアの方の姿を通して、学ぶことが多く、参加してとてもよかったです。

管理栄養学科2年 ● 水野 真子



学校法人 市邨学園

名古屋経済大学

●お問い合わせ先

地域連携センター TEL0568-68-3282

FAX 0568-67-0724 MAIL chiiki-c@nagoya-ku.ac.jp

〒484-8504 愛知県犬山市内久保61-1 TEL0568-67-0511(代表)